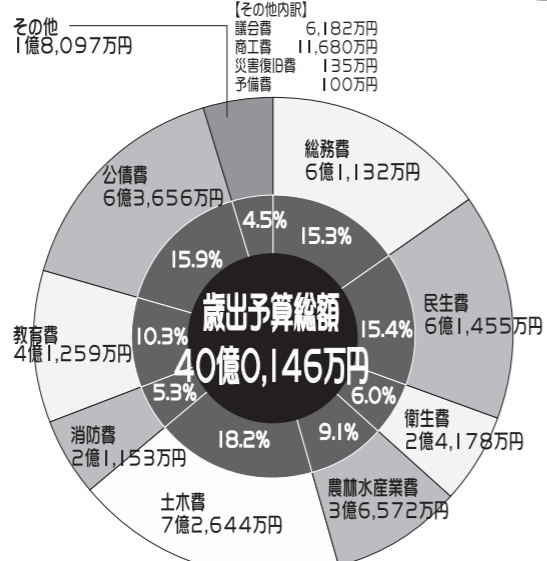
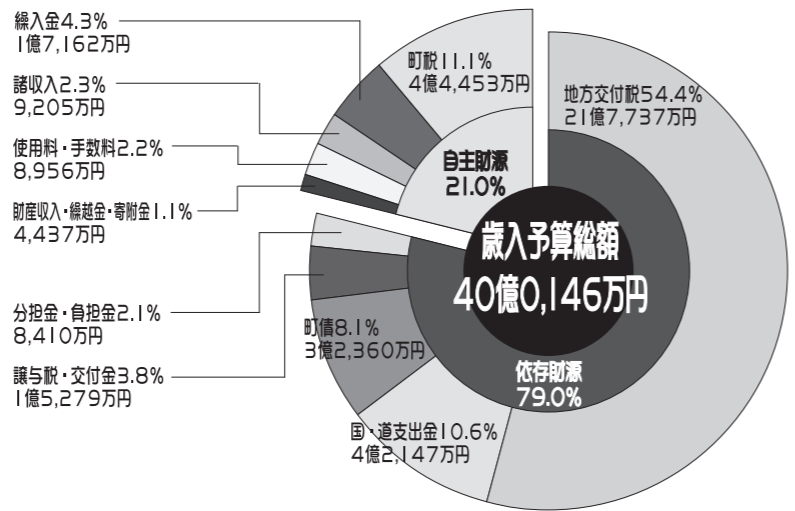


### 一般会計当初予算概要

#### 用語の解説

- 地方交付税**  
町が標準的な行政運営するのに必要な財源を国が保障するため、一定の基準で交付
- 国・道支出金**  
国や道の基準に従って行った事業に対して受ける国や道からの補助金等
- 町債**  
町が大きな建設事業などを行う際に、長期間にわたって利用することができ、多額の費用が必要ときに借り入れる長期的な借金
- 繰入金**  
基金や積立金を取り崩して財源に充てるお金
- 諸収入**  
預金利子や国、道の受託事業収入、給食費等
- 公債費**  
借入金の元金、利子の支払いに要する経費
- 総務費**  
全般的な管理事務、税務、戸籍、財産の維持管理等の経費
- 民生費**  
高齢者や障害者に対する社会福祉、保育所の運営管理などの児童福祉等、安定した社会生活に必要な経費
- 衛生費**  
ごみ・し尿処理、保健指導等、健康で衛生的な生活環境を保持するための経費
- 農林水産業費**  
農業、林業、水産業振興のための経費
- 教育費**  
小・中学校、給食センター、総合体育館、える夢館の管理運営等、教育・文化に関係する経費
- 消防費**  
東十勝消防事務組合負担金、災害対策のための経費



【歳出前年度比較】(万円)

款	前年比
議会費	▲ 286
総務費	1,247
民生費	▲ 31,692
衛生費	▲ 285
農林水産業費	5,399
商工費	3,498
土木費	7,031
消防費	94
教育費	6,560
災害復旧費	0
公債費	▲ 4,755
予備費	0
計	▲ 13,189



葬斎場の整備

後も安全な管理に努めます。  
平成22年11月に株式会社北海道エコーシステムが本町の安骨地区に建設した産業廃棄物最終処分場(名称:とよころドーム処分場)の安定的な運営に協力していきます。

#### 住宅環境の整備

平成23年度に策定した公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切な維持管理を行い、住宅に困窮する町民の福祉向上を図っていきます。

#### 道路網の整備

主要な幹線道路および地域の基幹的幹線道路については、年度別事業計画に基づき改良舗装を進めてきたところですが、北栄幹線および牛首別1号線を継続事業で行い、新たに幌岡第3幹線の改良を実施します。  
また、住民の生活や産業活動を守るために舗装路面の補修、冬季間の除排雪など引き続き適切な維持管理に努めます。

#### 水道・下水道の整備

簡易水道事業については、茂岩簡易水道基幹的施設改良事業により統内ポンプ場、配水池および湧洞配水池などの設備更新を継続して実施し、良好な水道水を安定供給できるよう努めていきます。  
また、公共下水道については、管渠改修工事を継続して実施し、快適な生活環境を維持するため

#### 農業の振興

豊かな資源を生かしたまちづくり

昨年、夏場の高温、9月の長雨によって一部作物に影響を受けましたが、作柄は全体を通して概ね昨年並みとなっています。  
畑作においては、昨年度から農業者戸別所得補償制度へと農業政策が大きく転換されていますが、大きな混乱もなく交付金が支払われている状況にあります。

この農業者戸別所得補償制度については、営農継続支払いとその年の数量に応じて交付金が支払われる制度であり、収量確保に向け基盤整備、特に、明暗渠排水がさらに重要になっているため、茂岩、長節、二宮および礼文内地区において道営事業を継続実施するとともに、新規

▼特集は「暮らしやすさ豊かづくり」

役場だより

計画地区として湧洞地区を予定しています。

さらに、エゾシカの急激な増加に伴い、農作物の食害対策も喫緊の課題となっています。銃器およびくくり罠によるエゾシカの捕獲を強化するとともに、自衛のため設置する電牧柵の助成についても引き続き実施します。

畜産については、家畜飼養用水緊急支援対策事業と黒毛和牛の繁殖雌牛導入助成を継続実施するとともに、特に、家畜伝染病の口蹄疫対策として、豊頃町家畜自衛防疫組合が整備する家畜防疫資材費に継続助成を行い、予防対策の強化に努めます。

政府は、昨年11月TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への交渉参加に向けて関係国との事前協議入りを表明しました。

このTPPについては、参加国間の関税を原則撤廃することから、第1次産業が主体の本町は壊滅的な影響を受け、町自体存続の危機を迎えることとなります。関係団体はもとより町一丸となりTPP交渉参加について断固反対していきます。  
このほか、日豪のEPA交渉など農業は大きな試練を迎えて

町有林においても造林や保育事業など計画的に実施していきます。

また、エゾシカなどによる農林業被害対策については、本年度も豊頃猟友会の協力により有害鳥獣駆除およびエゾシカの一斉駆除を行い、被害の拡大防止に努めていきます。

平成20年度に合併した「十勝広域森林組合」の加工工場再編については、当面、計画規模を縮小し、池田、豊頃の工場再編が検討されており、本年度池田町において加工工場整備が実施される予定となっています。

#### 漁業の振興

昨年3月11日発生した東日本大震災に伴う津波により甚大な被害を受けた大津漁業協同組合の共同利用施設については、概ね漁業活動に支障がないよう復旧されていますが、漁港周辺において補修が必要な箇所があるため、早期に整備を行うとともに、防災対策として耐震岸壁、漁船上架施設などの大津漁港整備を国に向けて要望してまいります。

基幹漁業である秋さけ定置漁について、道東沿岸部は2年続けたの極端な不漁となり原因究

いますが、農業協同組合、農業委員会、そして関係機関と十分に連携を図りながら農業振興に取り組んでいきます。

#### 林業の振興

林業を取り巻く状況は、国産材の活用が進んできており町内でもカラマツ林の伐採が多くなっています。山林は保水機能を有していることから、本町の1次産業である農業、漁業にとって重要な役割を担っており、山林の多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、跡地造林の推進は重要な課題です。



一般民有林の造林推進策として、未来につなぐ森づくり推進事業および豊頃町産業振興事業の助成により造林面積も拡大傾向にあることから、本年度も継続して本事業の助成制度を推進してまいります。

明が待たれるところであり、シヤマモ、毛ガニについても漁獲安定のため資源管理型漁業を継続して取り組んでいます。

このような状況の中、資源安定化を目的として、大津漁業協同組合が実施しているサケの増殖事業、マツカワ、クロソイなどの栽培漁業に助成を行い沿岸資源の拡大に努めるとともに、北海道が事業主体となって進めている広域魚場整備事業により、毛ガニ、タコ等の資源増大を目的とした大型魚礁の設置が大津沖合で行われており、本町沿岸漁業資源の増大を期待するものです。

#### 商業の振興

地元での購買意欲維持のため平成19年度を初年度とし800セットの販売から始まったプレミアム付き特別商品券発行事業も本年度で6年目を迎えようとしています。

この間、購入希望者および希望数量の増加に対応するとともに、プレミアム率も拡大する中で昨年度は6500セットを完売し、換金率も99・9パーセントを超える実績となり、購買力の流出防止対策として定着して